

## 放課後等デイサービス自己評価

この「放課後等デイサービス自己評価表」は、放課後等デイサービスガイドラインの内容に沿った評価項目を規定し、職員全員で行った自己評価です。

課題や改善すべき内容、工夫している点等について表記しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	89%	11%	
	②	職員の配置数は適切であるか	89%	11%	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	78%	22%	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	67%	33%	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	67%	22%	11%
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78%	11%	11%
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	89%		11%
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	89%	11%	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	89%	11%	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	76%	12%	12%

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	72%	14%	14%
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	63%	25%	12%
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	88%	12%	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75%	25%	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25%	50%	25%
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ、積極的に参加しているか	86%	14%	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	63%	37%	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50%	38%	12%
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		
	㉕	個人情報に十分注意しているか	100%		
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		
非常時の対応等	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	45%	22%
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	78%	11%	11%
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78%	11%	11%
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	89%	11%	
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	78%	22%	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	56%	44%	

## 2020自己評価表まとめ

### ○環境・体制整備

- ・密にならない机の配置、囲い等を工夫して、集中しやすい環境を作っている。
- ・学年や児童生徒の個性に合わせて対応している。

### ○業務改善

- ・非常勤の職員も参加できる情報交換の場をより増やしていく。
- ・送迎時の話し合いや連絡帳等により、保護者の要望や意向を把握している。
- ・専用の携帯電話を用い、保護者からの連絡相談に対応している。
- ・保護者アンケートを実施している。
- ・自己評価結果を、社会福祉法人広島聴覚障害者福祉会のホームページに掲載している。
- ・今年度はコロナ禍のため、研修会の機会確保は十分とは言えない。
- ・児童生徒が予定通り来所しなかった時間などがあれば、子どもたちの状況把握や指導支援の内容について話し合う時間を設けている。

### ○適切な支援の提供

- ・自身の担当する児童生徒について、相談して作成している。
- ・集団活動での個人の特徴を捉え、個別の指導・支援にも活かしている。
- ・支援後、記録表に記入し、次回の支援前には記録を確認している。
- ・担当児童生徒について随時支援計画を見直し、4月・10月の個別支援計画の更新に反映している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時に保護者と連携をとっている。
- ・学校とも随時連携をとっている。
- ・デイ以外の子どもと活動する機会は設けられていない。

### ○保護者への説明責任等

- ・保護者を含む行事については、今年度はコロナ禍のため開催していない。
- ・利用契約時に説明を行っている。
- ・福祉社会会報やホームページにより、情報を発信している。
- ・個人情報に記載されたものは、シュレッダー処理している。
- ・利用契約や記録などは、戸棚に鍵をかけて保管している。

### ○非常時の対応等

- ・保護者に緊急時対応について、より丁寧に周知する必要がある。
- ・災害発生時の行動について、児童生徒に説明、より分かりやすく掲示する必要がある。